

漢詩

18 「夜雨寄北」

夜^ヤ雨^ウ寄^ス北^ニ 李商隱

君^{キミ} 問^フ 歸^キ 期^キ 未^レ 有^レ 期^キ

巴^ハ 山^{サン} 夜^ヤ 雨^ウ 漲^ミ 二 秋^{キウ}

何^{ナニ} 当^タ 共^ニ 剪^キ 二 西^シ 窓^{マダ} 燭^{ロク}

却^カ 話^ハ 中^{チウ} 巴^ハ 山^{サン} 夜^ヤ 雨^ウ 時^ジ

〔唐詩選〕卷八

* 語注

- * 君：作者の妻をさす。
- * 巴山：中国四川省にある地名。
- * 剪：ロウソクの芯を切つて、炎が明るく輝くようにする。
- * 燭：ロウソク。

作者紹介 李商隱 (りしやういん)

八二二年～八五八年。晩唐期の詩人。字は義山。同時代の杜牧と並称して小李杜と言われたり、温庭筠と並称して温李と言われたりした。詩風は精密・華麗で叙情的な作が多く、また修辞を多く用いた。晩唐唯美主義を代表する詩人。

問1 — 線部①について、

(1) 書き下し文に改めよ。

(2) 現代語訳として最も適当なものを次から選び、記号を○で囲め。

- ア 期間は限られてしまっている。 イ まだ時期は決まっていない。
 ウ すぐに期限はやってくる。 エ もう期日は過ぎていく。

問2 □を補つのに最も適当な字を次から選び、記号を○で囲め。

- ア 沼 イ 川 ウ 海 エ 池

問3 — 線部②で作者が思い描いている情景を表現した絵として、最も適当なものを次から選び、記号を○で囲め。

記号を○で囲め。



ア



イ



ウ



エ

問4 詩にうたわれた心情として最も適当なものを次から選び、記号を○で囲め。

- ア 寂寥 イ 盛衰 ウ 憧憬 エ 惜別